

# 天明まちづくりセンターだより

発行/熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 TEL223-1117 FAX223-3275

## どんどや

1月、天明の各地域でどんどやが行われました。13日には銭塘校区下内田で過去最大級のやぐらを作られました。14日の御郡のどんどやには150名を超える皆さんが集まりました。下内田ではぜんざいやかっぽ酒、御郡でもおしるこや子ども会へのお年玉が用意され、にぎやかな一時となりました。



## 天明ホール再開のお知らせ

天明ホールの営業再開日が平成31年4月12日(金)に決まりました。また、これに合わせてホールの利用予約受付を再開します。予約受付当日は、利用日の調整会を開きます。調整会参加希望の方は当日直接、天明公民館C会議室へお越しください。

予約方法など詳しくは、市ホームページまたは天明公民館(☎096-223-0118)へ。

### 【4月~来年2月利用予約受付日・調整会受付時間】

利用希望月	予約受付日	調整会受付時間
4月	2月20日(水)	午前9時半~10時
5月		午前10時半~11時
6月		午後2時~2時半
7月		午後3時~3時半
8月	2月21日(木)	午前9時半~10時
9月		午前10時半~11時
10月		午後2時~2時半
11月		午後3時~3時半
12月	2月27日(水)	午前9時半~10時
来年1月		午前10時半~11時
来年2月		午後2時~2時半

通常予約

※通常予約は利用希望日の属する1年前の月の初日(休館日の場合は翌日)となります。

利用希望月	予約受付日	調整会受付時間
来年3月	3月1日(金)	午前9時~9時半

12月23日、奥古閑小校区と中緑小校区で毎年恒例の自治協議会・社会福祉協議会による餅つき大会が各小学校でありました。

奥古閑校区では、餅つきとあわせて、子どもたちは運動場で凧あげをして遊びました。その後、参加者の皆さんでお餅をいただきました。

中緑校区では、餅つき大会の最後に、中緑小学校の6年生から地域の方へ手紙を読み上げ、餅と花のプレゼントを渡していました。

両校区ともたくさんの地域の皆さんが参加され、盛大な餅つき大会となりました。

## 天明の歴史シリーズ11 緑川の話(後半)

第11弾「緑川の話(後半)」の紹介者は白河部健さんです。

### (2)加藤清正の治水事業

加藤清正は暴れ川を鎮め、人々を洪水から守り、水田を開いた治水事業の神様である。

#### ① 蜜柑の芻(はね)

井澤蟠龍(江戸中期)の肥後國誌に、「河(緑川)を芻ね、海を広ぐるは銭塘(手永)なり。山もなく、いそがしきものは走り瀧にして、早足なるは八町に至り、遅きは二町にして船に乗る。小岩瀬は河を飛越え、鶴森の作は鳥の多し」とある。緑川には、清正が築いた芻が数多くみられる。



※ 学料のサヨム芻

サヨム芻には二つの説がある。天明村誌には、緑川と有明海の境をなす左衛門芻は、緑川最大の芻である。加藤肥後守(清正)が、緑川の大改修を行った際作ったと。ある書物には、細川藩主の命で、馬原左右衛門が築いた。それで、サヨム芻という。どちらが正しいかわからない。私見では、清正の時代には、二町から唐津塘の線まで開発され、学料は細川藩の干拓ということを見ると、細川藩の時代につくられたものではないだろうか。

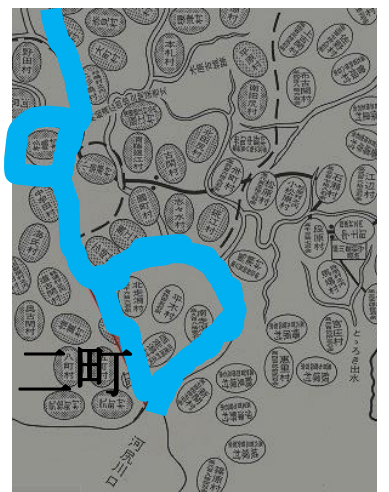
#### ② 慶長年間の事業

緑川の放水路として、大慈寺下の曲流部から小岩瀬まで、長さ1,500m幅約130mの川を掘削した。おかげで、川尻一帯の洪水は防ぐことができたが、川尻の港は水位が下がり、港として使えなくなった。そこで、吞吐の堰を造って、御蔵の前に船が着くようにした。

### (3)細川藩の治水事業「嘉永新川」

旧緑川は下流部が大きく湾曲していたので、洪水時には水はけが非常に悪く、大きな被害に見舞われていた。そこで、文政9年(1826)から4年間大普請事業が行われたが改善されなかった。その対策として、嘉永年間に新川を作成し、緑川を西下させ、有明海河口へと注ぐというラインが造られた。

緑川は、加藤清正をはじめ細川藩、その他多数の先人により、長い年月をかけて改修されてきた。そのお陰で、洪水が減り、水田が開発され、今日の我々の暮らしへとつながっている。



※宇土市デジタルミュージアム掲載図より

## 奥古閑校区・中緑校区 餅つき大会

